

はじめに、今回、登場する組織と事業を紹介していきます。

まずは組織です。

1. 「特定非営利活動法人せんだいアビリティネットワーク」という支援団体と 2. 「メイ・ソリューション株式会社」が登場してきます。

続いて事業です。

3. 「仙台市障害者バーチャル工房事業」、4. 「仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター事業」、という 2 つの仙台市の事業と、宮城県の事業である「パソコンボランティア関連事業」が登場してきます。

更に 5. 「就労継続支援 B 型事業所『せんだい庵』」が登場してきます。

各事業の詳細は、次を一読頂ければ幸いです。

## 組織・事業の紹介

### 特定非営利活動法人せんだいアビリティネットワーク

平成 17 年 4 月から活動を開始した NPO 法人です。仙台市と東北福祉大学による「障害のある方のための IT セミナー」という取り組みを前身に、東北福祉大学の教職員が声を掛け合って設立されました。活動内容は、障害のある方のパソコン等の ICT 機器の利活用支援を通じて、在宅就労や意思伝達の実現に向けた取り組みを行っています。平成 17 年度の設定後は、当時、東北福祉大学が受託していた仙台市障害者 IT サポートセンター事業を引き継いで運営を行っていました。後述する委託事業に取り組んでいます。

### メイ・ソリューション株式会社

この次に登場する、仙台市障害者バーチャル工房事業「せんだい庵」の参加者が、平成 23 年に設立させた会社です。会社設立の目的は、『仙台市障害者バーチャル工房で学んだ業務の実践を「バーチャル」から「リアル」の場で展開していきたい』という創業者の思いから「障害のある方・高齢者主働」の会社として設立されました。

業務内容では、障害者バーチャル工房で取り組んでいるインストラクタ業務（パソコン講習および講師派遣）、プラスチック製品の加工（ネームプレート、銘板、レーザー加工、加熱曲げ加工等）および販売、重度障害者用意思伝達装置（補装具）や情報・通信支援用具（日常生活用具）の取り扱いを行っています。プラスチック製品としては、主に上肢障害のある方のパソコン利用を補助するキーガード作りに取り組んでいます。

なお、2020 年 6 月に筆者は創業者よりバトンタッチを受けメイ・ソリューション株式会社の経営を引き継いでいます。

郡司さんとの関わりでは、情報・通信支援用具の手配のみならず、日頃の不便を解決し

ていくためのアイデアを郡司さんから提供頂き、試作品作りのテーマとなっております。

### **仙台市障害者バーチャル工房事業「せんだい庵」**

仙台市からの委託事業として平成 18 年度から取り組んでいる在宅就労支援事業です。この事業は、平成 16 年度から実施されている仙台市障害者 IT サポートセンターの後継事業として開設され、障害者 IT サポートセンター事業による利活用支援の延長上で、在宅就労により収入獲得を目指す事業へ発展しました。

この事業では Web ページや CAD 等のデジタルデザイン、パソコン講習会等のインストラクタ業務、データ入力業務に対応するための講座の実施や、有志による自主的な勉強会や PR 活動の工房活動に取り組んでいました。

その後、事業規模の見直しにより事業内容を変化させながら今日に至っています。

特に、有志による自主的な勉強会や PR 活動ですが、自主的な勉強会では講座で学んだ内容の復習から、地域の樹脂加工である小糸樹脂株式会社（メイ・ソリューション株式会社の創業者）から仕事を受けるための勉強会を開催していました。PR 活動では、参加者が対応可能な業務をまとめた PR 用の Web ページを作って公開、また地域の店舗等に配布するためのチラシ作成などに取り組んでいました。

この活動が、後に仕事の獲得につながり、ホームページ製作やカッティングシート作成、ポスター製作、データ入力、テープ起こしなどの仕事が発生していきました。裏話になりますが、仕事の依頼をしてくださる事業所では、個人との契約が出来ない場合が多くありました。その課題について、特定非営利活動法人せんだいアビリティネットワークが契約の窓口となり、契約後の作業をバーチャル工房事業の参加者に繋いでいました。

なお、ここでの「せんだい庵」は、事業参加者が活動時に使用している工房名です。

### **仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター**

ALS 等の進行性神経難病をはじめとする重度の障害をお持ちの方の意思伝達支援に取り組んでいたパソコンボランティアの活動を仙台市が引き継ぎ、重度障害者用意思伝達装置を活用してコミュニケーションが取り続けられるよう技術的な支援を提供する支援機関として、平成 23 年 5 月に開設されました。

訪問、電話、メールによる直接的な支援や、意思伝達装置を操作するためのスイッチが既製品では対応できない方に対して、スイッチの加工や製作を行っています。

### **就労継続支援 B 型事業所「せんだい庵」**

平成 29 年 12 月に特定非営利活動法人せんだいアビリティネットワークが開設させた就労継続支援 B 型事業所です。仙台市障害者バーチャル工房事業の事業規模の変化に対応し、それまでの事業参加者の収入獲得機会を安定させるために開設されました。

特徴は、バーチャル工房事業の流れを汲んでいる事より、在宅での利用に対応している点が挙げられます。

#### **宮城県事業「パソコンボランティア養成講座」「パソコンボランティア派遣」**

宮城県が実施するパソコンボランティアに関する事業です。新たな活動者を育成していく「パソコンボランティア養成講座」と、養成講座修了後、希望者から登録を行ってもらい、登録者を派遣する「パソコンボランティア派遣事業」に取り組んでいます。

続いて、仕事内容、組織の紹介、郡司さんに対してのサポートについて、お話しして参ります。

郡司さんが取り組んでいた仕事の内容は、バーチャル工房事業を通じて取り組まれたもの、就労継続支援 B 型事業所を通じて取り組まれたものを整理しながら紹介したいと思います。

#### **仙台市障害者バーチャル工房事業「せんだい庵」**

バーチャル工房事業での工房活動（PR 活動）を通じて獲得したホームページ製作や更新作業、写真の切り抜き、テープ起こしなどの業務に取り組んでいました。ホームページ製作では、社会福祉法人等から依頼を受けたページ製作や更新作業を中心に取り組んでいきました。

当時、サイト全体のデザインを得意とする方が参加していたことから、郡司さんはそのデザインを活かした更新作業を中心に取り組んでいました。

#### **就労継続支援 B 型事業所「せんだい庵」**

バーチャル工房事業時代に獲得した仕事を引き継いで開設された経過より、同じくホームページ製作や更新作業等に加え、新たに出版社から依頼を受けた手書き原稿のテキスト化の作業が加わりました。